

2022年6月10日

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

2021年度競輪補助事業完了のお知らせ

この度、2021年度の競輪の補助を受けて、以下の事業を完了いたしました。

補助事業名	2021年度 2025年日本国際博覧会への支援	補助事業
事業の内容	2025年大阪・関西万博推進事業	
補助金額	33,298,896円	
完了年月日	2022年3月31日	

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

①フリーペーパー（AFTER2025）の制作・配布

大阪・関西万博のコンセプトである“People's Living Lab=未来社会の実験場”の具体的な取組みの一つとして本事業を展開しました。本万博の開催まで約3年を機に、人類のあるべき姿や大阪について考えるためのきっかけ作りとして実施しました。

②大阪・関西万博自治体連携プログラム

本万博への全国の自治体の参加促進、機運醸成並びに会場の四方を海に囲まれた初の国際博覧会「海の万博」に対する関心をより高めるために実施しました。

③教育プログラム事業

これからの未来を担う子どもたちが、開催前から大阪・関西万博に向けた取り組みに参加し、SDGsについて学び、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」のためのアイデアを考えてもらうとともに、2025年には実際に万博会場へ行きたくなるよう、興味・関心を高めてもらうために実施しました。

④各国・国際機関等の参加招請を目的とした国際イベント開催

公式参加予定国への本万博に対する理解の増進と参加の促進のため実施しました。

(2) 実施内容

①フリーペーパー（AFTER2025）の制作・配布

“People's Living Lab=未来社会の実験場”を体現するツール創作として、大阪・関西のクリエイターやデザイナー等にフォーカスしたコンテンツのフリーペーパー（AFTER2025）を製作し、関西を中心に文化施設・教育機関・「TEAM EXPO 2025」プログラムの参画企業及び団体など約600か所へ配布しました。

<https://after2025.jp/>



フリーペーパー（AFTER2025）

②大阪・関西万博自治体連携プログラム

○「海のがっこうin四国水族館」

<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20220218/>

小学校の生徒と保護者を対象にしたオンラインスクールを開催しました。

四国水族館を教室に見立て、当協会、兵庫県神戸市、香川県宇多津町の各担当者が海の万博をテーマに授業を行った後、神戸市、宇多津町、四国水族館、ナビゲーターの4者で「海と地球の未来」についてのトークセッションを行いました。



配信の様子



配信の様子

○「海を楽しむ、海を守る、“笑顔輝く”日本の海」

<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20220228/>

自治体向けオンラインシンポジウムを開催しました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして、サーフィン競技参加国を受け入れた5つの自治体が登場し、ホストタウン事業の成果や課題、「海」でつながる大阪・関西万博に向けて、自治体が連携して取り組めることについて議論を深めました。



左：シンポジウム会場 右：オンライン登壇者

③教育プログラム事業

<https://www.expo2025.or.jp/overview/education/>

学校教員向けの説明会を2回オンラインで実施するとともに、各参加校の授業計画に沿って随時実施しました。

7月7日から順次、学校と企業とのオンライン授業（アイデアミーティング）を実施しました。中学生は2月に関西ユースミーティングでアイデアの発表を行い、小学生はアイデアポスターを3月に当協会HPに公開。また阪神梅田店8階ハローカルチャーにポスターの現物を展示。また、参加した小学生・中学生に対しポップアップメモを配布するとともにその他イベントの際にも配布することで本万博の周知拡大を図りました。



ポスター展示の様子



授業風景



参加校の小学生が作成したポスター



ポップアップメモ

④各国・国際機関等の参加招請を目的とした国際イベント開催

本万博の公式参加予定国に向けてのタイプAパビリオン建築に関する概要説明会を開催しました。

2 予想される事業実施効果

①フリーペーパー（AFTER2025）の制作・配布

制作・配布したフリーペーパーが今後も各地で、多くの人々の目に留まることにより、本万博の更なる機運醸成が期待されます。

②大阪・関西万博自治体連携プログラム

○「海のがっこうin四国水族館」

全国44都道府県から891組が視聴しました。イベント前は視聴者のうち約30%が大

阪・関西万博が開催されることを知らなかったものの、イベント終了後のアンケートでは、本万博への興味が高まったという回答が全視聴者の97%を占めました。万博が楽しみ、行ってみたいというようなコメントもあり、本イベントを通じて、本万博の認知を高めることができました。

実施後のアーカイブ配信（2022年3月31日まで）についても約8,300件のページビューがあり、同様の効果があったものと考えます。

日本には水族館が100施設以上あり、全国各地の水族館を起点に未来社会を生きる子どもたちと共に海について考える場を提供することで、会場を海に囲まれた本万博の認知拡大と興味・関心の向上が見込まれます。同時に本万博への来場につながっていくものと予想されます。

○「海を楽しむ、海を守る、“笑顔輝く”日本の海」

終了後のアンケート調査の結果、本シンポジウムの理解度は90%以上を占め、多くの方に本万博の意義やテーマ、自治体の参加について、具体的な内容を伝えることができました。

今後の参画について前向きに検討する声が多く寄せられ、今回のようなシンポジウムの継続的な開催を望む声もありました。すぐに具体化するものではないですが、今後の更なる情報発信や自治体同士の連携によって、本万博への参加促進や「海の万博」に対する関心を高めることができる可能性を残すことができました。

今回は、東京2020大会のサーフィン競技参加国のホストタウン事業を実施した自治体同士の連携を軸として開催しましたが、今後、別の海洋スポーツ競技を切り口として開催するなど、その他のホストタウン事業実施自治体への展開も可能であり、今回の単発のイベントで終わることなく、継続した本万博への参加促進に向けたムーブメントとなることが予想されます。

③教育プログラム事業

当プログラムを継続して実施していく学校が出てくることが見込まれ、その学校については万博及びSDGsへの興味や関心を持つ小学生や中学生が増加します。加えて、プログラム実施規模を拡大することで興味関心を持つ子どもが増え、更なる機運醸成が期待されます。

広報ツールを包括的に企画・制作し展開することで、より高い告知効果が期待でき、本万博の開催周知やロゴマークの認知拡大を図るとともに、より関心を引き起こし、万博開幕に向けての機運醸成や万博への更なる参画に繋がることが期待されます。また、制作したポップアップメモが今後も各地に使用され、人の目に留まることによって、本万博の機運が更に醸成されることが期待されます。

④各国・国際機関等の参加招請を目的とした国際イベント開催

参加招請においてこれまでの活動を一段と加速、活性化する事が期待されます。既に参加表明した国は参加申請（パビリオンのグレード決定を含む）等、具体的な準

備の為の促進に繋がり、未表明国は表明に向けての調整材料としての重要な情報になります。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

①フリーペーパー・Webサイト <https://after2025.jp/>

②大阪・関西万博自治体連携プログラム

○大阪・関西万博「海のがっこう」

イベントチラシ 10,000部

https://www.expo2025.or.jp/wp-content/uploads/220218_leaflet_online.pdf

○自治体向けオンラインシンポジウム「海を楽しむ、海を守る、“笑顔輝く”日本の海」
本編動画（2022年6月頃公開予定）

<https://www.youtube.com/channel/UCD6DI0GaY8v60mh9HfzGZMQ>

ダイジェスト版動画（2022年6月頃公開予定）

<https://www.youtube.com/channel/UCD6DI0GaY8v60mh9HfzGZMQ>

広報用チラシ

https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/uploads/220228_leaflet_online.pdf

③教育プログラム専用教材

学習読本（小学生版テキスト）

https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/themes/expo2025or.jp_2022/assets/pdf/education/1_lower.pdf

学習読本（中学生版テキスト）

https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/themes/expo2025or.jp_2022/assets/pdf/education/2_middle.pdf

教員用指導書（小学校版）

https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/themes/expo2025or.jp_2022/assets/pdf/education/3_manual_lower.pdf

教員用指導書（中学校版）

https://www.expo2025.or.jp/wp/wp-content/themes/expo2025or.jp_2022/assets/pdf/education/4_manual_middle.pdf

映像教材、実績報告書、ポップアップメモ 30,000部

④開催動画（アーカイブ用）

[The 1st Architectural Guidance for Type A Pavilions of EXPO 2025 - YouTube](https://www.youtube.com/watch?v=...)

建築ガイダンス説明スライド・建設ガイダンス協会内報告書/参加国一覧

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
(ニセンニジュウゴネンニッポンコクサイハクランカイキョウカイ)

住 所 : 〒559-0034
大阪市住之江区南港北1丁目14番16号

担当部署 : ①企画局企画部企画事業課
②機運醸成局企画部共創推進課
③機運醸成局地域・観光部地域連携課
④国際局国際部企画課

担当者名 : ①企画事業課 谷口(タニグチ)
②共創推進課 高坂(コウサカ)
③地域連携課 岡崎・武川(オカザキ・タケガワ)
④企画課 加藤(カトウ)

電話番号 : 06-6625-8651

F A X : 06-6625-8663

E-mail : info@expo2025.or.jp

U R L : <https://www.expo2025.or.jp/>